

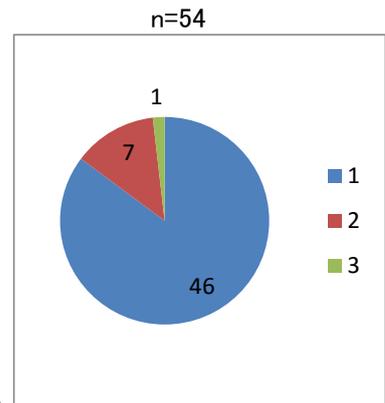
ライフサポートファイル等の活用促進に向けた調査の結果(概要)

【調査の趣旨】

ライフサポートファイルの活用促進に向けた工夫や活用上の課題等について、令和元年10月に別紙調査表により、県内全54市町村の障害福祉主管課を対象に調査を実施した。

【1 ファイルの導入状況】

- 1 既に導入している・・・46/54 市町村 (85%)
 千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ヶ谷市、富津市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、南房総市、匝瑳市、香取市、山武市、いすみ市、酒々井町、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里市、九十九里町、芝山町、横芝光町、長生村、大多喜町、御宿町
- 2 導入していないが、現在、導入に向けて検討中である
 ……7/54 市町村(13%)
 野田市、君津市、一宮町、睦沢町、白子町、長柄町、長南町
- 3 導入しておらず、導入に向けた検討も行っていない・・・1/54 市町村(2%)
 鋸南町

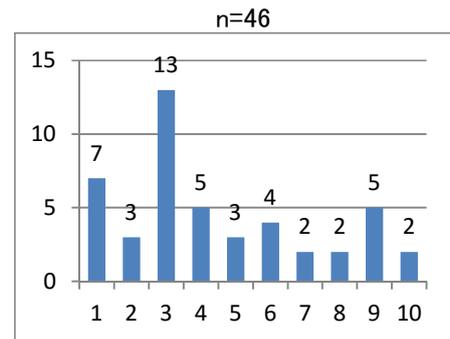


【2 導入済み市町村の状況】

千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ヶ谷市、富津市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、南房総市、匝瑳市、香取市、山武市、いすみ市、酒々井町、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里市、九十九里町、芝山町、横芝光町、長生村、大多喜町、御宿町

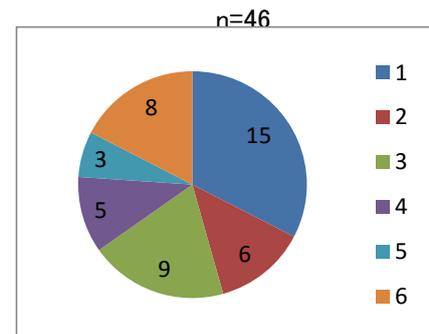
① ファイル導入開始時期

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 H21年度以前 | 7 /46市町村(15%) |
| 2 H22年度 | 3 /46市町村(7%) |
| 3 H23年度 | 13 /46市町村(28%) |
| 4 H24年度 | 5 /46市町村(11%) |
| 5 H25年度 | 3 /46市町村(7%) |
| 6 H26年度 | 4 /46市町村(9%) |
| 7 H27年度 | 2 /46市町村(4%) |
| 8 H28年度 | 2 /46市町村(4%) |
| 9 H29年度 | 5 /46市町村(11%) |
| 10 H30年度 | 2 /46市町村(4%) |



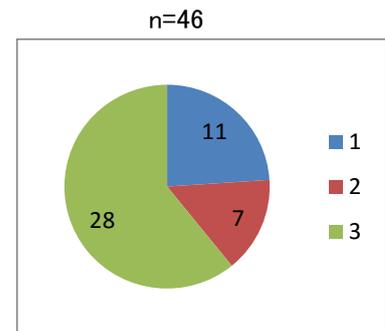
② 現在までの配付部数

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 501部以上 | 15 /46市町村(33%) |
| 2 500部～251部 | 6 /46市町村(13%) |
| 3 250部～101部 | 9 /46市町村(20%) |
| 4 100部以下 | 5 /46市町村(11%) |
| 5 電子媒体のみ | 3 /46市町村(7%) |
| 6 不明 | 9 /46市町村(17%) |



③ ライフサポートファイルの活用状況

1 比較的良好活用されている	11/46市町村 (24%)
2 あまり活用されていない	7/46市町村 (15%)
3 どちらともいえない	28/46市町村 (61%)



・1の場合、「活用しやすくするための工夫や活用を促すための周知などをどのように行っているか」

- ・周知用パンフレットを作成し、小学校等において配付している。
- ・小中学校教員向けに「活用ガイド」を作成し、教員に対するファイル活用の啓蒙を図っている。
- ・保護者と関わる人たちの各種研修会等で周知を図っている。
- ・ファイルの書き方教室を開催している。
- ・ホームページに掲載している。
- ・相談事業所等で相談者へ周知や説明を行っている。
- ・健診などを利用して、全家庭に配布している。

・2の場合、「どのような点に課題があると考えているか」

- ・ホームページで配付しているため、普及状況が把握できていない。
- ・母子手帳との併用が難しい。
- ・保護者の意識により活用に差が生じている。
- ・周知や活用の方法の検討が必要である。
- ・特別支援級の先生等の理解が不十分であり、今後、周知を検討していく。
- ・アプリにしてほしい、PCで編集できるようにしてほしいなどの要望が市民からある。
- ・以前はなかった電子母子手帳などといったツールが登場している。

・3の場合、「その理由」

- ・活用状況について把握していない。
- ・保護者への記入方法や利用方法の周知が足りていない。
- ・ファイルのサイズが大きく持ち歩くのに不便。
- ・保護者の障害受容の意識が異なるため活用に差が生じている。
- ・就学前の支援を必要とする児童の保護者が、スムーズな入学への引継ぎに向けてファイルを希望するケースが増えた。

【3 導入していないが、現在導入に向けて検討中である市町村の状況】

導入予定時期

- ・野田市(未定)
- ・君津市(平成31年度中)
- ・一宮町(令和2年4月)
- ・睦沢町(令和2年4月)
- ・白子町(令和2年3月)
- ・長柄町(令和2年4月)
- ・長南町(令和2年4月)

【4 導入しておらず、導入に向けた検討も行っていない市町村の状況】

鋸南町

検討を行っていない理由

- ・効果は否定しないが、現状では他の事業・施策に 1/1 市町村 (100%)
重点を置くべきと考えている

【5 市町村の障害者計画におけるライフサポートファイルの位置づけ】

①現行の障害者計画に記載があり、次期計画にも記載する予定・・・25/54 市町村 (46%)

銚子市、館山市、木更津市、佐倉市、旭市、習志野市、柏市、市原市、我孫子市、浦安市、袖ヶ浦市、印西市、白井市、富里市、香取市、山武市、栄町、多古町、東庄町、芝山町、横芝光町、長生村、市川市、匝瑳市、成田

②現行の障害者計画には記載がないが、次期計画には記載する予定・・・15/54 市町村 (28%)

千葉市、勝浦市、八千代市、君津市、四街道市、八街市、いすみ市、大網白里市、長柄町、大多喜町、御宿町、一宮町、九十九里町、富津市、睦沢町

③現行の障害者計画には記載がなく、次期計画にも記載しない予定・・・8/54 市町村 (15%)

茂原市、鴨川市、鎌ヶ谷市、酒々井町、神崎町、白子町、長南町、鋸南町

④その他・・・6/54 市町村 (11%)

- ・次期計画への記載は未定 2 市町村
- ・ライフサポートファイルという文言の記載はないが、相談体制の
充実という部分でこの手帳を活用している。 1 市町村
- ・特別支援教育推進の一環としてファイルを導入した。 1 市町村
- ・第1期障害児福祉計画に位置付け 2 市町村

n=54

